

2011年新年号

会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

平成23年 年頭所感

永塚誠一 近畿経済産業局長 2

橋下 徹 大阪府知事 4

夏山享啓 (社)大阪金属プレス工業会会长 5

新年賀詞交歓会開催案内 7

第2回経営・労務研究会開催案内 8

マツダとのビジネスマッチング商談会開催案内 9

第4回「ものづくり日本大賞」(近畿ブロック) 11

記念講演会&応募説明会



社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

平成23年 年頭所感



近畿経済産業局長 永塚 誠一

平成23年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の日本経済は、一時は海外経済の改善や企業の経営努力による業績回復等により、リーマン・ショック後の落ち込みから急速な回復傾向にありました。しかし、年央以降の円高、デフレの影響等により横ばいで推移し、自律的な回復には至っておらず、先行き不透明な状況にあります。

中長期的な観点では、多数の競合企業による「国内消耗戦」等の産業構造全体の課題、日本企業の「ビジネスモデル」の転換の遅れ、我が国の「事業拠点としての魅力の喪失」に加え、新興国等との競争激化により、我が国経済は「行き詰まり」の状況にあります。このため、経済を再び成長軌道にのせていくための官民挙げての取り組みが必要となっております。

こうした中、政府は昨年9月に「新成長戦略実現に向けた3段構えの経済対策」を策定し、①円高・デフレ状況に対する予備費を活用した緊急的な対応、②補正予算の編成等、景気・雇用の動向を踏まえた機動的・弾力的な対応、③平成23年度予算の活用等による新成長戦略の本格実施という3ステップによる対応を行っているところです。

また、円高による空洞化懸念がある中、新たな雇用につながるような内外企業による思い切った国内投資を促進するため、昨年11月には経済産業省が中心となり「日本国内投資促進プログラム」を策定し、国内立地促進のための総合的な対策を推進しているところです。

このような状況の下、本年、近畿経済産業局では、これらの対策の着実な実施に加え、「関西メガ・リージョン活性化構想」のアクションプランを推進しつつ、個性的なものづくり中小企業の集積等、関西が持つポテンシャルを活かして、以下の施策に重点的に取り組んでまいります。

第一に、環境・エネルギー産業分野への支援です。国内市場でのシェアが約8割を占めるリチウムイオン電池に代表されるように、関西は、環境関連産業の集積地域といえるものの、グローバル競争が激化する中で、世界市場でのシェアは低下傾向にあります。このため、雇用の拡大や成長の原動力として「低炭素型雇用創出産業立地推進事業」等により関連産業の立地を促進するとともに、電子・エネルギー技術関連産業の競争力強化に向けた支援を行ってまいります。

また、本年3月には、大阪においてEVや蓄電池等の新エネルギーをテーマとする国際フォーラムが開催されるなど、新エネルギーに関する取り組みが活発化しており、こうした動きを支援してまいります。

第二に、アジア等を見据えた中小企業の海外展開支援です。人口減少下の我が国市場に中長期的な拡大が期待できない状況にある一方で、アジアをはじめとする新興国市場は拡大が見込まれます。このため、中小企業がその強みを活かし、海外市場への展開を成長の機会とすることが重要となります。そこで、当局が昨年10月に設置した「近畿地域中小企業海外展開支援会議」等を通じて関係機関とも連携し、海外へのミッション派遣や世界で通用するブランドづくりへの支援を行っていきます。また、優れた技術を有する中小企業の国際航空機市場への参入支援や、環境・エネルギー関連企業のタイ・中国等アジアへの展開を推進するため、海外の政府機関等との交流を通じて、関西企業のビジネスチャンスの創出に取り組んでまいります。

第三に、世界レベルの創薬・医療機器拠点の形成支援です。関西には優れたものづくり技術を有する企業や大手製薬メーカーに加え、多数の大学・研究機関が集積しています。これらの技術と知識を活かして、高度な医療機器等の開発や拡大が見込まれる創薬・医療機器市場への参入を促進すべく、自治体や経済団体等とも連携し支援していきます。

第四に、デザインや感性を活かしたものづくりの活性化とクリエイティブビジネスの支援です。伝統工芸など関西が持つ多様な文化の蓄積から生まれるデザイン製品は、海外からも高く評価されております。国内のみならず海外でも通用するデザイン製品の紹介などを通じて、デザインを活かした関西ブランドの発信に努めるとともに、クリエイティブビジネスの市場形成に向けた取り組みを行ってまいります。

先行き不透明な経済状況にありますが、近畿経済産業局は、先進性や多様性などの関西の強みを活かし、成長するアジア等の市場を取り込みつつ我が国の成長を牽引する魅力ある地域にすべく邁進してまいります。

本年も経済産業政策への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成23(2011)年知事年頭所感



大阪府知事 橋下 徹

新年あけましておめでとうございます。

本年は、大阪の将来を見据えた次なる第一歩を踏み出す時と考えています。徹底した改革を断行しつつ、あくまでも財政規律を堅持する。その上で、大阪の都市魅力の創造、大阪の成長に向け財源の重点配分を行い、「改革」と「成長」を府政の両輪として運営していきます。

特に、力を注ぎたいのが、大阪の成長です。アジアを中心とする新興国の経済が急速な成長を遂げているなか、都市間競争にうち勝つためには、大阪の再生を図り、日本全体の「成長」エンジンとしての役割を発揮させることが不可欠です。現状としっかりと向き合い、成長の道筋を描くため、「大阪の成長戦略」を策定しました。今後10年間の目標を掲げ、「環境や新エネルギー等の高い技術力を活かし、さらなる『高付加価値を創造する都市(ハイエンド都市)』」と「阪神港と関西国際空港を活用し、アジアと日本各地を結び『集積・交流・分配機能を発揮する都市(中継都市)』」を目指します。

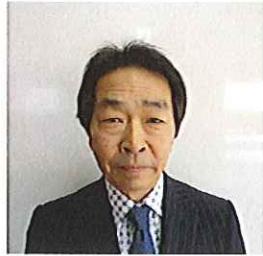
こうした戦略を実現するためには、大阪産業の要である中小企業の振興が重要なカギです。「グローバル化」は、もはや避けられない流れです。中小企業の皆様には、自らの強みを再認識し、技術を活かして新たな分野に果敢に挑戦するとともに、海外にもっと目を向けていただきたいのです。大阪府では、ものづくり総合支援拠点として「ものづくりビジネスセンター大阪」をスタートさせています。また、府立産業技術総合研究所もお手伝いし、「新分野に打って出る」「海外に打って出る」中小企業の皆様を大いに応援していきたいと考えています。

もう一つ、「教育」。未来への投資です。私は、子どもたちへの教育に徹底してこだわってきました。予算成立をもって確定しますが、この春の入試から、私立高校等の授業料無償化を年収610万円未満世帯まで拡充します。また、年収800万円未満世帯についても、保護者負担が10万円に收まります。これにより、全体の7割の子どもたちにとって中学校卒業段階での学校選択の幅が格段に広がることになります。これは、他府県に例のない大規模な支援策です。大阪全体の底上げにつなげたいというのが、私の思いです。

昨年12月、関西広域連合が始動しました。国の権限移譲の受け皿として最大限に活用し、本年を、地域主権改革を大きく進める年にできればと考えます。

皆様の一層のご理解とご協力をお願いしますとともに、本年が実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈りします。

年頭のご挨拶



(社)大阪金属プレス工業会
会長 夏山 享啓

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましは、新しい気持ちの中、穏やかに「卯年」の新年を迎えた事と存じます。

旧年中は、当工業会の事業運営にあたりまして会員各位をはじめ、関係行政機関、並びに関連業界団体等、多くの皆様方のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2008年のリーマン・ショック以降、2年と4ヶ月弱が過ぎようとしていますが、BRIC'S及びそれに続く新興国(タイ・インドネシア・ベトナム・トルコ・アルゼンチン・南アフリカ共和国等)の経済的回復は著しいものがあるものの、米国、日本を初めEU諸国等、先進諸国の景気回復は道半ばという状況です。特に、EU諸国ではギリシャの財政破綻を始め、イギリス・アイスランド・スペイン・ポルトガル等、非常に厳しい財政環境が続いております。

我が日本におきましても人件費、又為替リスク回避の為、日本の産業界の両輪ともいわれる自動車・弱電業界の新興国(タイ・インド・ベトナム・インドネシア等)への生産シフトを拡大、又、加速度的に進めようとしています。

また、当然のことながら対、米ドル、対、ユーロ以外の対、韓国ウォン、対し日本円は非常に高いポジションにある為、両国の競合相手、サムスン電子、LG電子、現代自動車と同じ土俵の中では戦えない状況です。

これはもちろん、外交と同じく政治的な要素が強い問題ではありますが、是非、現政権に早期に解決して頂きたいと思います。

また、デフレ問題も増え深刻化する一方で自動車業界では、トヨタ自動車が本年秋よりグループ会社であるダイハツ工業より3車種供給を受けトヨタ販売店で販売開始、又ハイブリッド・プラグインハイブリッド車を10数車種市場投入の予定と聞いております。これらはレグサスブランドと違ってかなり低価格の販売価格を設定すると発表しております。日産自動車も軽自動車で実績ノウハウを持つ三菱自動車と折半出資で軽自動車の開発会社を設立。2012年度に共同開発車を市場投入予定。これはもちろんデフレ対応策とはいえ、2008年度にはすでに国内新車販売のうち軽自動車は38.5%のシェアを達成し現在の様なデフレが長期化傾向にある事を意味しているものと思われます。エコカー減税は終了し、省エネポイントも本年3月迄延長されるとはいえ、大幅な対象商品の除外、ポイント減少で新たな景気浮揚策を政府に期待せざるをえません。

政界に少し目を向けて見ますと一昨年夏の衆議院選挙で大勝した民主党が昨年夏の参議院選挙で大敗し国会運営がまさしく、ねじれ状態になっております。菅内閣は支持率も外交・経済政策の無策により昨年12月中旬の支持率は21%、不支持率は60%(朝日新聞社世論調査)に達し、比例区投票先では2008年10月以降初めて自民党27%、民主党23%と逆転しました。本年4・5月頃に解散総選挙があるのではとささやかれています。

ともあれ、余り政界に過度の期待をしても始まりません。今年は昨年にも増して厳しい1年になりそうですが、これまで厳しい年月を耐えてきたわけですから、何とか各事業所が保有する技術、情報を駆使し生き残って行こうではありませんか。

常日頃より言っておりますが、私たち金属プレス業は様々な製品の必要不可欠な部品を生産しているサポートインダストリーです。今後大手企業の中には東南アジアの生産シフトを拡大する可能性がありますが、日々正確な情報アンテナを張り巡らし、海外について行くのか、又国内に留まり新たな業界・部品・商品に挑戦するのか各々の会社が決断すべき大きな問題であります。

当工業会も会員の皆様方のニーズをいち早くキャッチし、事業に反映させて参りたいと思っております。これまでの継続事業である技能検定・ISO取得の為の補助・リスクアセスメントの普及はもとより、新たな事業を組み入れていくつもりでございます。

どうか今年一年も経済環境非常に厳しい中ではございますが、昨年同様より一層のご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げまして、念頭のご挨拶にかえさせて頂きます。





謹
賀
新
年

本年 もよろしく
お願
い申
し上
げま
す

平成二十三年元旦

副
副
会
長
中
佐
新
宮
夏
辻
藤
弘
一
憲
享
康
進
郎
一
啓

(社)大阪金属プレス工業会

平成23年正月
2011年

「ふじば」ガホ
薙捲、蘭草、香草(きくわ)
Eupatorium Fortunei

小野妹子が万葉集に
歌った七種のひとつとして歌っています。
私の家の露地に
11月の始めに咲きました。
今、12月20日に元気な姿を
ほんとうに枝ですが、まだ少し咲いてみました。
そのあと、刈り取った1~1.5m
ある30本を束にして部屋の
スミに置いてあります。
葉が生乾きにな
なるお正月に
万葉の香り
がたのめ
る期待してます。
松葉二郎 大阪市守山東区 野江 2-14-10



(社) 大阪金属プレス工業会
会長 夏山 享啓
経営委員長 東潤一郎
総務委員長 西村 哲也

平成23年 新年賀詞交歓会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成23年を迎えるにあたり、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬 具

記

【日 時】 平成23年1月19日(水)

第1部 新春特別講演会 **15:30**～17:10

講師:梶原浩一氏(KRBコンサルタント株代表取締役社長・認定事業再生士)

演題:メイン:銀行交渉がうまくいく返済猶予成功術

サブ:あなたの会社を短期間で再建させる方法

第2部 新年賀詞交歓会 **17:30**～19:30

【会 場】 第1部 たかつガーデン 3階「カトレア」

第2部 // 8階「たかつ東中」

【参 加 費】 10,000円/人 (講演会は無料)

お振込先

三菱東京 UFJ 銀行上本町支店
(普)0487575
(社)大阪金属プレス工業会

講師プロフィール

1964年大阪府生まれ。近畿大学を卒業後、㈱キーイングを経て、27歳の時に経営コンサルタントの世界に、既存顧客での売上アップや新規顧客の獲得、中期経営計画・経営戦略の策定、賃金制度や人事評価制度の策定などで数多くの実績を重ね、1998年ネットバンク戦略経営研究所を創業、指導先企業が民事再生を申し立て、翌年破産したことをきっかけに会社再建、事業再生に本格的に取り組み始める。2005年にKRBコンサルタント㈱設立。1社でも多くの会社を立て直し、経営者と従業員の生活と人生、財産を守ることに日々全力投球している。会社を再生させるだけでなく、売上アップや組織に活力を与えるその再生手法に、再生企業経営者から絶大な信頼を得ている。

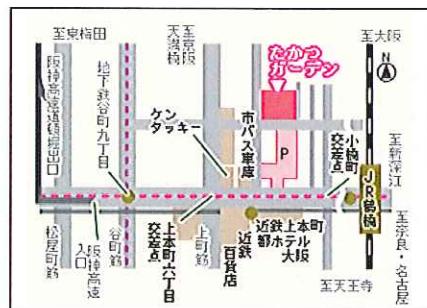
(社) 大阪金属プレス工業会宛

FAX 06-6762-7633

mail omsa1@omsa.or.jp

平成23年 新年賀詞交歓会参加申込書

会社名	○印お願いします		
役職名	氏名	講演会	懇親会
お支払い方法	<input type="checkbox"/> 振込 (/ 予定) <input type="checkbox"/> 当日払		



大阪市天王寺区東高津町 7-11

(社) 大阪金属プレス工業会
経営委員会

平成 22 年度 経営・労務研究会 第 2 弾

～最低限おさえておくべき～

職場のハラスメント対策のポイント

厚生労働省から発表された資料によりますと、平成 21 年度における民事上の個別労働関係紛争に属する相談は 24 万 7302 件で、前年度と比べ 4.3% 増加しています。その相談内容の中でも『いじめ・嫌がらせ』に関するものが 12.7% に達しており、企業の労務管理におきましてもハラスメント対策が急務になっているといえるでしょう。

今回のセミナーでは、企業のリスクマネジメントの観点から、最低限おさえておくべき労務管理のポイントを解説していただきます。

日 時 2月 15 日 (火) PM2:30 ~ 5:00

場 所 たかつガーデン 3 階「蘭」(大阪市天王寺区東高津町 7-11 TEL06-6768-3911)
(近鉄上本町駅徒歩 3 分・地下鉄谷町九丁目駅徒歩 6 分)

概 要 : ★ハラスメントとは

★ハラスメントが認定された場合の事業主責任 (法的根拠)

★事業主が雇用管理上構じなければならない措置 (セクハラ指針) の内容

★職場でハラスメントがおこった場合、会社はどう対処しなければならないか

★ハラスメントをおこさない職場作りとは

その他

参加費 無 料

定 員 20 名 (定員になり次第、お申込順にて締切とさせて頂きます)

講 師 宮川 弘之氏 (株式会社 H & I コンサルティング代表取締役・特定社会保険労務士)

サラリーマン時代の労働組合経験 (支部長を歴任) 活かし、中小企業から大企業まで
数多くの就業規則・人事制度構築 (賃金制度・退職金制度・人事考課制度) のコンサル
ティング・ハラスメント対策を含む企業研修を行っています。

詳しい情報はこちら → URL : <http://www.hi-grp.co.jp>

FAX 06-6762-7633

会社名		役 職	
お名前		ご連絡先 TEL	
E-Mail (FAX)		会場案内図	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要

2月 15 日 (火) のセミナーに参加します。

お問合せ : (社) 大阪金属プレス工業会 06-6762-8629 (担当 : 池田まで)

マツダ㈱とのビジネスマッチング商談会開催のご案内

大阪府では、高度な技術を有する府内ものづくり中小企業の新規取引の拡大や技術革新を支援しています。平成23年3月にマツダ株式会社の協力により、同社が目指す次世代自動車の技術ニーズに応える形のものづくり中小企業とのビジネスマッチング商談会を開催します。

マツダ株式会社では、エンジン効率向上や車両軽量化といったベース技術の限界への挑戦や、それを実現する「モノ作り革新」が進められており、新たな課題である電動車両（HEV車、BEV車など（※1））の技術ニーズも含め、企業からの技術提案を募集します。

また、ものづくり企業に加え、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）内にリエゾンオフィス（※2）を開設する関西圏を中心とした17大学等の研究シーズとのマッチングを併せて行い、マツダ株式会社との新たなイノベーションの創造を図ります。

1月18日には、3月の商談会に先立ち、同社の求めるテーマや技術ニーズに関するプレゼンテーション（オープントーラム）を開催しますので、商談会に参加を希望する企業はふるってご参加ください。

なお、都合によりオープントーラムにご参加いただけない企業についても、各中小企業支援機関等のサポート、推薦等により、ビジネスマッチング商談会参加に向けてのご提案は可能です。

※1 HEV車：エンジンとモーターを組み合わせたハイブリッド電気自動車のこと。
BEV車：バッテリー式電気自動車のこと。

※2 リエゾンオフィス：企業ニーズと、大学の研究室、研究者のもつ研究テーマ、貴重な技術シーズのマッチングを行い、产学連携による共同研究、技術移転等を実現させるための支援機能をもつ組織のこと。

1 オープンフォーラム開催概要

- 日 時：平成23年1月18日（火曜日）13時30分から17時まで
- 会 場：りそな銀行本店地下講堂（大阪市中央区備後町2-2-1）
地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町駅」（17号出入口）北すぐ
- 内 容：マツダ株式会社技術担当者からのプレゼンテーション
第1部：「マツダが考える自動車と技術」
第2部：「次世代自動車で必要となる技術ニーズ」
- 参加料：無料
- 参加申し込み
(1)募集期間 平成22年12月20日（月曜日）から平成23年1月17日（月曜日）まで
(2)参加要件（下記要件をすべて満たすこと）
1. 府内に本社、事業所又は工場等を有し事業を営む中小企業者（中小企業基本法第2条第1項に定義される企業者）のうち、マツダ株式会社からのニーズ内容に対して提案等を希望する企業。
※ものづくり中小企業（製造業者）に限ります。
2. ビジネスマッチング商談会に参加が決定した場合、商談状況等について主催者に定期的に報告するなどの協力をしていただける企業。

（3）申込方法

MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）のHP
https://www.m-osaka.com/jp/contact/contact_matching.html
【マツダ㈱ビジネスマッチング商談会オープントーラム参加申込登録】
へ必要項目を入力してください。

○ 主 催：大阪府・財団法人大阪産業振興機構
○ 共 催：大阪府ものづくり振興協会
○ 協 力：マツダ株式会社
○ 事務局：財団法人大阪産業振興機構 取引振興課
担当：合宝（がっぽう）・山路
電話：06-6748-1144 FAX：06-6745-2362
E-mail : mazda2010mobio@mydome.jp

2. ビジネスマッチング商談会までのスケジュール

（1）オープントーラム終了後、参加企業は提案シートを提出。【締切：2月初旬予定】

※「ビジネスマッチング商談会参加企業募集要項」及び「提案シート」は、オープントーラム当日に配布します。

なお、オープントーラムにご参加いただけない企業につきましては、上記事務局までお問合せください。

（2）提案シートに基づき「ビジネスマッチング商談会参加企業選定委員会」で審査・選定。

※選定委員会では各企業等からの提案内容がマツダ株式会社からのニーズに合致しているか等について審査します。

＜選定委員会構成＞ 大阪府・財団法人大阪産業振興機構
オブザーバー：マツダ株式会社

（3）審査、選定結果の通知 【2月中旬予定】

（4）ビジネスマッチング商談会の開催

日 時：平成23年3月15日（火曜日）・16日（水曜日）

○ 第1日目（15日） 9時30分から16時まで

ものづくり中小企業の展示商談会

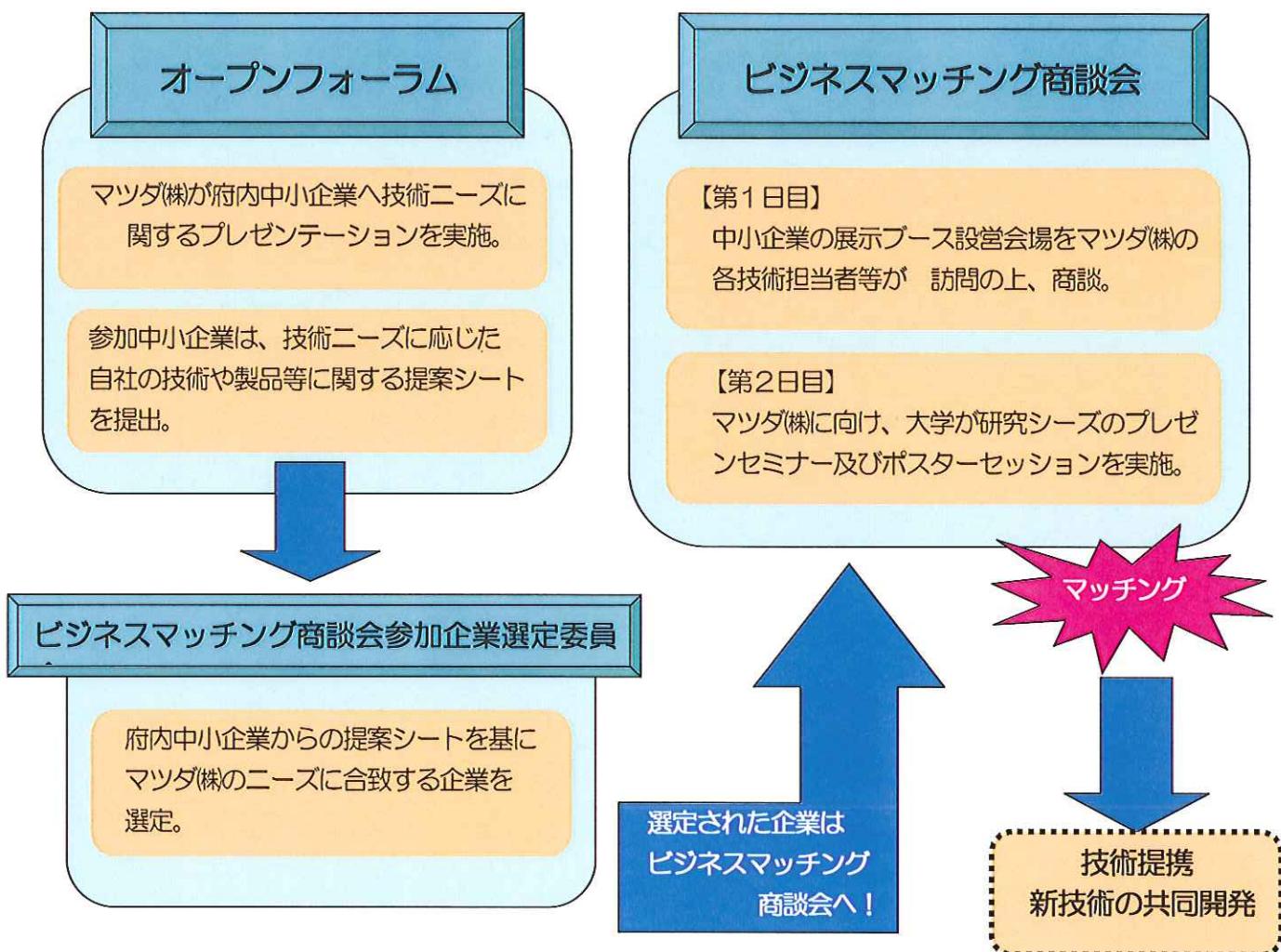
○ 第2日目（16日） 11時から16時まで

大学のポスターセッション・プレゼンセミナーの開催等

場 所：マツダ株式会社 広島本社1号館3階講堂

（広島県安芸郡府中町新地3-1）

＜ビジネスマッチング商談会事業フロー＞



◆オープンフォーラム◆

日時：平成23年1月18日（火） 13時30分から17時まで

会場：りそな銀行本店地下講堂（大阪市中央区備後町2-2-1）

地下鉄堺筋線・中央線 堀筋本町駅北

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=4&grp=resona&ino=BA472831>

◆ビジネスマッチング商談会◆

日時：平成23年3月15日（火）・16日（水）

【第1日目：15日】 午前9時30分から午後4時まで
ものづくり中小企業の展示商談会

【第2日目：16日】 午前11時から午後4時まで
大学のポスターセッション・プレゼンセミナーの開催等

場所：マツダ株式会社 広島本社1号館3階 講堂
(広島県安芸郡府中町新地3-1)



プログラム

14:00~16:30(受付開始13:15~) *都合によりプログラムが変更になる可能性があります。予めご了承下さい。

- 1.説明会 第4回「ものづくり日本大賞」の応募要領等を元に近畿経済産業局担当者によりて説明いたします。
さらに、第3回「ものづくり日本大賞」受賞者紹介(CD)を放映します。

2.記念講演会

- 1 前審査委員長による講演**
- テーマ 「ものづくり日本大賞へのチャレンジ—その意義と効用—」
- 講師 岩田一明氏／第1~3回「ものづくり日本大賞」第1次審査委員長
(大阪大学 名誉教授・神戸大学 名誉教授)
- 内容 過去、第1~3回「ものづくり日本大賞」近畿ブロック選考分科会(第1次審査)審査委員長より、「ものづくり」の最近の動向、「ものづくり日本大賞」の意義や過去の受賞傾向、受賞がイベントなどについてご講演いただきます。

2 受賞者による講演

- テーマ 「「ものづくり日本大賞」に応募すること、受賞すること」
- 講師 大阪会場 中村勝重氏／三度光島株式会社 代表取締役社長
「第3回:製品・技術開発部門／内閣総理大臣賞／東京都 三鷹市」
受賞件名:世界初の脂神活性化用手洗用頭微鏡と頭微鏡スタンドの設計・開発・事業化

- 京都会場 黒崎 将夫氏／新日本製鐵株式会社 技術開発本部八幡技術研究所 著手めっきグループ(技術) 主幹研究員
「第3回:製品・技術開発部門／内閣総理大臣賞／福岡県 北九州市」
受賞件名:高純度を形而的に向上させた無電離子燃料タンク用鋼板(エココート[®]-S)の開発

兵庫会場

- 井田 敦夫氏／ニューリー株式会社 代表取締役社長
「第3回:製品・技術開発部門／経済産業大臣賞／京都府 久世郡」
受賞件名:スキヤナの竹筒を破るあらわゆる物体表面の面的質感デジタル化を実現したスキヤメラ

- 内 容 第3回受賞者から、「ものづくり日本大賞」に応募することの受賞するここと、それそれが個人(企業)に与える影響力(成果)についてご講演いただきます。

- 3.名刺交換会 記念講演会講師(前審査委員長、過去受賞者)や関係者(局担当者など)との情報交換、並びに参加者の交流を目的に名刺交換会を実施します。

参加申込書

- FAXまたはE-mailに必要事項をご記入の上、
事務局までお申込み下さい。
- ※注記欄が足りない場合は、お手数ですがコピーしてご使用下さい。

- ①個人情報>ご連絡先等の個人情報は、当該事業の目的以外には利用いたしません。

- 最終締切**
各会場開催日の
3日前まで

- 申込が定員に達した場合、その時点でお断り
を仰めさせていただきます。予めご了承
願います。

E-mail申込 kyoto@arpak.co.jp

お問合せ先
アルパック株式会社
〒600-8007 京都市下京区四条通高倉西入立光町82 京都駅和ビル6F
TEL 075-221-5132 FAX 075-256-1754 E-mail kyoto@arpak.co.jp

KEIRIN この事業は政府の補助金を
受けて実施します。
<http://ringing-keirin.jp>

第4回「ものづくり日本大賞」近畿ブロック開催記念講演会＆説明会

ものづくり日本大賞 応募のポイントと 受賞の「その後」

無料
参 加 費

前第1次審査委員長が講演!
第1~3回「ものづくり日本大賞」
応募希望・検討者は
ぜひご参加ください!

「内閣総理大臣賞を目指して」

日本の文化や産業を支えてきた「ものづくり」を
新しい時代に継承・発展させていくため

その最前線で活躍する人々を讃美する「ものづくり日本大賞」。

第4回目(平成23年度)の開催に先立ち、「

ものづくりの魅力と重要性について広くPRする取り組み」

第4回「ものづくり日本大賞」への応募促進を目的に

過去における受賞者ポイントなどを踏まえた記念講演会、

並びに応募説明会等を実施いたします。

ものづくり企業はじめ、支援機関・行政機関など

幅広い分野からおいでご参加をお待ちしております。

1/14(金) **大阪会場**
堺商工会議所／大会議室(2F)
地下鉄御堂筋線「なかもす」駅(徒歩5分)
300名

1/18(火) **京都会場**
メルバルク京都／会議室A(5F)
JR京都駅(徒歩1分)
200名

1/27(木) **兵庫会場**
尼崎市中小企業センター
／多目的ホール(1F)
阪神「尼崎駅」(徒歩5分)
200名

14:00~16:30
(受付開始:13:15~)



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

mail:omsa1@omsa.or.jp